

暖房器具、正しく使えていますか？

毎年全国で、暖房器具の誤使用や不注意から、火災につながるケースが相次いでいます。当消防本部管内でも、昨年は暖房器具による火災が5件発生しております。正しく使用し、火災の発生を防ぎましょう。

～火災につながる状況・誤使用～

直接熱が伝わる石油ストーブは、炎が見えるため危険性が伝わりやすいですが、直接火を使用しない電気暖房器具にも火災の危険性があります。

自宅の暖房器具について、以下の状況や使用方法になっていないか、きちんと確認しましょう。

○石油ストーブ火災

- 1 ストーブの上で洗濯物を干す⇒落下して燃える原因
- 2 燃料の保存状態が悪い、ホコリが積もったままになっている⇒不完全燃焼の原因
- 3 給油時に、ストーブを点けたままにする、こぼれた灯油をふき忘れる、カートリッジタ
ンクのふたを締め忘れる等の誤使用や不注意⇒給油時はストーブの火を消し、カートリ
ッジをきちんと締める等、取扱いに注意する。灯油をこぼした場合は、すぐにふき取り、
換気を行う。

○電気ストーブ火災

- 1 異常な音や臭いがする⇒故障している可能性がある。
- 2 ごみやホコリ等を放置している⇒ストーブの熱により燃える原因
- 3 就寝時等に、作動したままにする⇒寝ている間に布団が接触したり、ぶつかって転倒さ
せる原因

○その他(電気毛布、こたつ等)

- 1 電気毛布をカーペットとして重いものの下に敷いたり、電源コードを折り曲げる⇒負荷
がかかり、ショートする原因
- 2 電気こたつに洗濯物を入れて乾かすなど、ヒーター部分に接触するような使用方法をし
ている⇒温度調整機能が適切に作動せず、熱がこもり発火する原因

ご相談については最寄りの消防署までお願いします。

消防本部予防課 59-1403

会津若松消防署 25-1200

猪苗代消防署 62-4433

会津坂下消防署 84-2119

会津美里消防署 54-3934